

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年9月18日

東京都作業部会確認年月日 2019年9月20日

(契約変更に伴う再確認日 2020年9月18日)

事業名 民間警備会社による施設警備

案件名 警備JVとの個別契約の締結について

大会延期に伴う締結済個別契約の解除

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意の主旨をふまえ、各者の役割を整理したものである。 (令和2年9月10日 契約変更に伴う追記) なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	大会が近づくにつれ警備員の需給がひっ迫している中、効率運用の観点から組織委員会が一体的な運用を目指し、一元的に執行することが最も効率的かつ効果的である。	
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	本事業は、大会における競技会場等の警備を実施するものであり、安全・安心な大会実現のために必要不可欠である。 (令和2年9月10日 契約変更に伴う追記) なお、今回の解除に要する追加経費は、警備JVとの個別契約で定められた内容に基づくものであり、かつ本支払いが約定通り行われることが2021年に向けた再募集につながることから、現時点で手続きを進める必要がある。	
	実証実験等をふまえ、競技会場の警備基本計画を策定し、警備配置の考え方として妥当な人員配置であり、効率的かつ効果的である。	

	納 得 性	<p>警備員の需給がひっ迫している中、警備JVと警備業務委託契約を早期に締結することで、大会に向けた要員の確保を確実なものとする。</p> <p>(令和2年9月10日 契約変更に伴う追記)</p> <p>2020年3月に予定されていた大型の残契約を締結せず、3月末時点での個別契約のみに対する支払いに留められている。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>安全・安心な大会実現のため、競技会場周辺のセキュリティも含めた統合的な運用が必要不可欠であり、公費負担の対象として適切である。</p> <p>また、本件に係る経費が大会の全体経費を超過しないこととし、一層の経費削減に努める。</p> <p>(令和2年9月10日 契約変更に伴う追記)</p> <p>なお、延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を行う。また延期に伴う追加経費については、現時点での取り扱いが未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>		

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。